



I・D・A・S★しらなみ会 代表

竹内 芳隆

TAKEUCHI YOSHITAKA

1965年 柏崎市西山町出身

2021年 I・D・A・S★しらなみ会を発足

I・D・A・S★しらなみ会は、Ishiji (石地)・District (地域)・Active (活発)・Service (活動)の頭文字と、日本海の「白波」と「みんなが知らない」を掛けた名前。

西山町石地地区(石地・尾町・大津)に住む20代～60代の8人が中心になり、世代間の垣根を超えた交流を実施しながら、石地地区の財産や食文化を次世代へつなぎ、地域を活性化していく目的で活動を行っている団体だ。

代表を務める竹内さんは会社員として勤務する傍ら、他にもいろいろな役を担っている。50歳になるまでは勤務の関係で地元を離れ、北海道から九州までさまざまな地への転勤が続いていたそうだが、それでも休みのたびに地元に戻り、子どもたちの学校のPTA会長や市小中学校PTA連合会の会長を務めてきた。竹内さんは、「大変なことも多かったが勉強させられることも多かった」と振り返る。

昨年4月、西山地域の石地、別山、中川、大田の各コミセンが統合され、「西山コミセン」としてスタートした。これまで地域の拠点として活動していたコミセンが閉所し、地域に不安や焦燥感が漂う中で「知恵袋の年配者と若い世代が話し合

える顔の見えるコミュニティを作りたい」と「I・D・A・S★しらなみ会」を立ち上げた。そして、コミセンの理事と体育部長を引き受けていた竹内さんは、石地地域の人々と子どもたちを守るため、「地域の安全・安心・見守り活動」を引き継ぐことにした。

地域の人たちにも協力を仰ぎ、4～10月の月2回、石地地域に約400mごとの間隔で幟旗を立て、お揃いのベストを着てウォーキングをしてもらうなどの啓発活動を行った。一方でメンバーは、民生委員や町内会長と共に地域の75歳以上の方々の自宅を訪ね、会話をしながら生活の様子やちょっとした年配者の方々の変化を専門の方につなげるということを目的に、今年度の見守り活動を続けている。

地域の見守り活動には意外な副産物もあった。年配者との会話がきっかけとなり、今夏はしらなみ会の主催で12年ぶりの「盆踊大会」を開催。地域の人たちや町外の人ら100人ほどが集まり、互いに顔を合わせた和やかで心温まる盆踊り大会だった。竹内さんは、昔から石地には石地甚句、大津にも大津甚句があることを初めて知り、歌い手や太鼓の演奏ができる人たちを発掘して一緒に習得し、盆踊りを継続していきたいという思いを強くしたという。そして、しらなみ会といえば、石地海岸の浜茶屋「さかえ茶屋」で開催される音楽フェスやマルシェなどのイベントも人気だ。手作り雑貨や農産物、ヨガ、ワークショップなど、地域の特色を生かし、さまざまな世代の人たちが笑顔で集えるイベントの企画・開催を続けている。



2023しらなみマルシェinさかえ茶屋

～停電に備えた防災ご飯の実演～

11月11日(土) 入場無料  
10:00-15:00

会場▶さかえ茶屋 [西山町石地47-29]

TEL▶080-5979-0488

\*防災ご飯の実演(定員20名・参加費100円)  
10:30-12:00(当日見学大歓迎)

